

「指宿枕崎線(指宿～枕崎)活用に関する検討会」 における 2021 年度の取り組みについて

1. 検討会の取り組み概要

指宿枕崎線(指宿～枕崎)を持続可能な線区とするための活用策を検討・実行し、多くのお客さまに選ばれる交通手段になることを目的として、2021 年度は「指宿枕崎線(指宿～枕崎)活用に関する検討会」を計4回開催しました。

検討会では、線区のご利用実態に関する情報共有や、ご利用者を増やすための線区の活用策の検討および実施に向けた協議などに取り組み、それらを踏まえ各主体にて活用策を実施した結果、多くの方にご参加等頂きました。

2. 出席者

指宿市、南九州市、枕崎市、鹿児島県、国土交通省九州運輸局、九州旅客鉄道株式会社

3. 実施した線区活用策

JR 指宿枕崎線利用促進事業①

社会見学を行う団体への運賃の一部助成や小中学校の校外学習における運賃全額補助、各種啓発活動を実施



- ・教育委員会等や小中学校の個別訪問により事業を説明し活用を促進
- ・参加者 203 名(うち、JR 利用者 203 名)

JR 指宿枕崎線利用促進事業②

利用促進キャンペーン(謎解きイベント、車窓フォトコンテスト、駅前マルシェ等)の実施や沿線おすすめスポット等の情報発信を行った
・参加者 2,807 名

南薩マルシェ in 西嶺娃駅

西嶺娃駅にて食品や野菜の即売会(マルシェ)を実施
・来場者数 150 名(うち、JR 利用者 2 名)

いぶすき商店街駅弁まつり

指宿駅前前で地元の飲食店が結束して「駅弁祭り」を開催し、利用促進を図った
・来場者数 782 名(うち、JR 利用者 79 名)

イベントへの出店

博多駅前広場で指宿市・霧島市との共催イベントを開催(観光紹介・物産販売)
・パンフレット配布数 500 部

全体

この他にも「JR 山川駅の活用」や「電子ガイドブックの作成」など 5 件の線区活用策を実施し、全体の参加者等は約 4,400 名(うち JR 利用者 約 350 名)でした。

※新型コロナ感染拡大防止のため、その他4事業(車窓写真コンテスト、団体列車の運行等)では開催を見合せ

4. 2022 年度に実施予定の主な線区活用策

今年度は以下の活用策の実施を予定しております。引き続き、指宿枕崎線の更なる活性化にご協力をお願い致します。

- ・指宿駅前における「いぶすきバル」の開催
- ・西瀬娃駅の駅舎等を活用したイベント等の開催
- ・未就学児や児童生徒、高齢者の団体利用への支援及びその広報(JR 指宿枕崎線利用促進事業)
- ・イベント開催や企画乗車券造成への支援など(地域鉄道活性化支援事業)